

取組事例の紹介

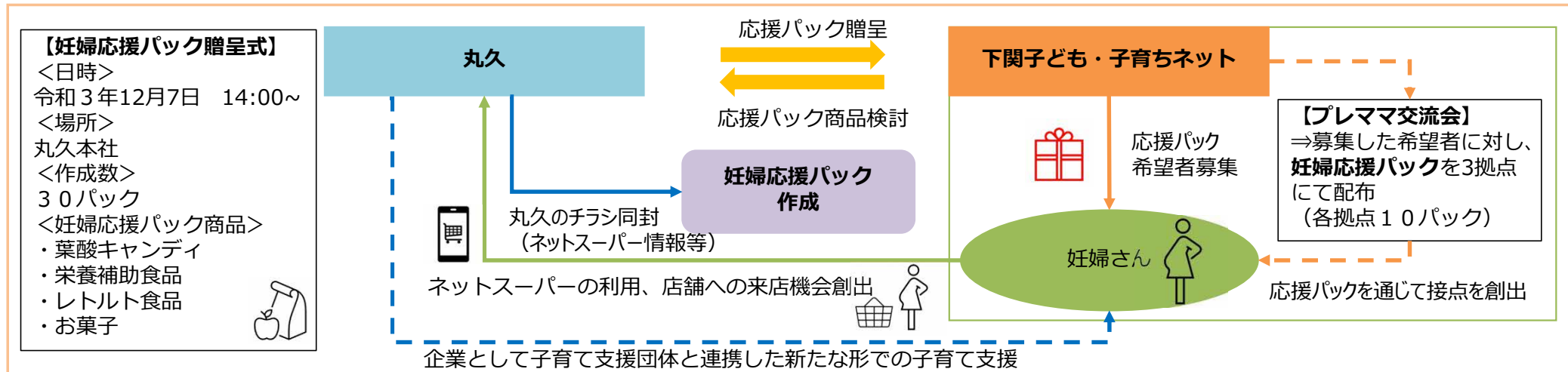


やまぐち子ども・子育て応援コンソーシアム
事務局

横展開

妊婦応援パック作成 丸久×下関子ども・子育てネット

■スキーム図 ※第1弾のコロナ禍子育て応援パック作成の横展開として、ターゲットを妊婦さんに絞った第2弾を実施



■企業メリット

- ・ 普段、接点を持つことが少ない子育て世帯（妊婦さんというターゲット）に対し、チラシ等を通じて直接発信したい情報を届けることが可能
- ・ 企業として子育て支援団体と連携した新たな形での子育て支援や、地域貢献活動が可能

■企業感想・意見

前回の取組で作成した子育て応援パッケージの際は、たくさんの子育て世帯の方に応募いただき、想定よりも大きな反響だった。
今回の取組で作成した妊婦応援パックについても、コロナ禍の影響を受けて色々な苦勞をされている子育て世帯（妊婦さん）にとって、少しでもお役に立てていれば幸い。

■子育て支援団体メリット

- ・ 子育て支援団体として、支援対象を妊婦さんまで広げることが可能となり、切れ目のない子育て支援を実現（今までは子どもが生まれた方が主として対象⇒子どもが生まれる前の方にも対象を拡大できた）
- ・ 拠点利用の無い妊婦さんと当子育て支援団体の繋がり、更には拠点利用者同士の新しい繋がり創出が可能

■子育て支援団体感想・意見

妊婦応援パックの配付をきっかけに、新たな拠点利用者の獲得、妊婦さん同士の繋がりなど、切れ目の無い子育て支援の拡大に繋げることができた。
今後については、企業（他業種）との連携に継続して取り組み、企業向け支援メニューの検討や、更なる子育て世帯への支援活動を展開していきたい。



妊婦応援パックの中身

⇒妊婦さんにとって役立つ商品をはじめ、丸久のチラシや下関子ども・子育てネットの拠点情報等が書かれたパンフレットを含む。



妊婦応援パック 梱包作業の様子

⇒丸久社員の方々にもご協力いただき、梱包作業を実施。また、妊婦応援パックがコンソーシアムによって実現した取組である目印として、コンソーシアムのロゴマークシールを袋に貼付。



株式会社丸久本社 贈呈式の様子

⇒丸久の田中総務部長（右）より、下関子ども・子育てネットの新内副理事長、藤本さん（左）へ妊婦応援パックを贈呈。



プレママ交流会の様子

⇒事前に募集した希望者（妊婦さん）に対して、妊婦応援パックを贈呈。先輩ママの話を聞くプログラムも併せて実施することで妊婦さんにとって心強い支援を実施。

(15) 県内社会 2021年(令和3年)12月8日 水曜日 山 口 新 聞

丸久、妊婦の子育て家庭を支援

NPO法人に食料品詰め合わせ寄贈



田中靖土部長(右)から「妊婦さん応援パック」を受け取る藤本由季さん(中央)と新内和美さん
11月7日、防府市江泊

フの藤本由季さんに応援パックを手渡した。

丸久がコンソーシアムの取り組みで子育て支援団体に食料品を贈るのは7月の2団体に続き3団体目。田中部長兼室長は「子育て家庭の皆さんに役立てていただければ幸い」と述べた。

同NPOは来年1月に下関市内3カ所の親子ふれあい広場で開く妊娠中の女性と先輩お母さんとの交流会で応援パックをプレゼントする。同市在住の妊婦を対象に参加者を募集している。副理事長の新内和美さんは「応援パックのプレゼントをきっかけに、妊婦さんたちに広場となじんでもらえれば」と話した。

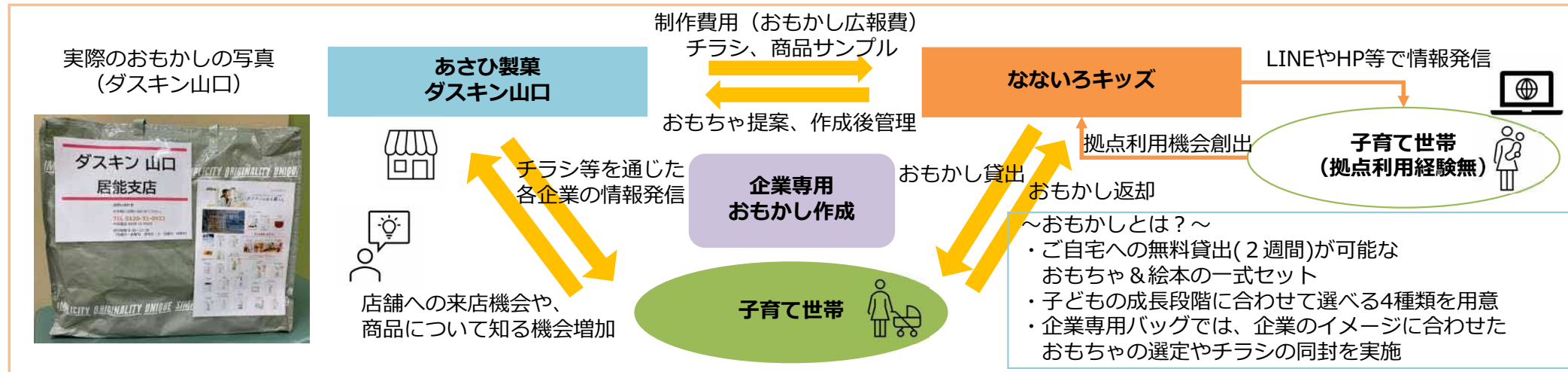
(大下秀幸)

アルクなどのスーパ―を展開する防府市の丸久は7日、妊婦がいる子育て家庭を支援しようと、下関市のNPO法人下関子ども・子育てネットに食料品を詰め合わせた「妊婦さん応援パック」30セットを贈った。県などが昨年10月に設立した「やまぐち子ども・子育て応援コンソーシアム」

の取り組みで、丸久、同NPOともにコンソーシアムに参画している。NPOの要望を受け、時短料理ができるレトルト食品やおやつタイムに一息つける菓子など6点を詰め合わせた。防府市江泊の丸久本部で贈呈式があり、丸久の田中靖土総務部長兼お客様サービス室長が同NPOスタッフ

おもかし作成 あさひ製菓・ダスキン山口×なないろキッズ

■スキーム図 ※令和2年度のあさひ製菓とのトライアル実施を経て、令和3年度に料金体系等を整理し、あさひ製菓・ダスキン山口の2社と本格実施



■企業メリット

- ・チラシや商品サンプル、カタログを同梱することで子育て世帯に対する広報活動が可能
- ・店舗情報に加えてクーポン券やプレゼント引換券の同梱により、店舗への来店機会を創出（あさひ製菓）
- ・普段接点がない子育て世帯に市販品ではない商品を知ってもらう機会の創出、アンケートを通じたニーズ調査が可能（ダスキン山口）

■企業感想・意見

料金体系をきちんと整備してくださったことで、持続性のある取組とすることができた。まずは1年間、利用者様にはおもちゃや弊社の店舗・サービスを楽しんでいただきながら、より良い取組として育てていきたい。（あさひ製菓）
 今後はチラシの多様化とアンケートの内容を検討し様々な利用者の声を収集できるようにしたい。（ダスキン山口）

■子育て支援団体メリット

- ・子育て世帯向けの企業情報や商品サンプル、商品無料引換券、クーポン付きアンケートが一緒に入っていることで利用希望者増加
- ・子育て世帯のサポート体制として“企業との連携”という新たな選択肢を創出
- ・おもかしの数を増やすことができ、より多くの子育て世帯におもかしを届けることが可能

■子育て支援団体感想・意見

企業と連携することにより、子育て世帯を応援している機運を高めることができた。あさひ製菓様・ダスキン様のおもかしは7月まで予約で埋まっている状態であり、タイアップキャンペーンの効果を実感している。また、2企業からの支援を受けおもかしの数を増やすことで、幅広い子育て世帯におもかしを届けることができています。



あさひ製菓のおもかしの中身

⇒企業専用のおもかしを作成する際は“企業らしさ”を大切にしている。あさひ製菓のおもかし作成については、「お菓子」にちなんだおもちゃをなないろキッズが選定し作成。



ダスキン山口のおもかしの中身

⇒多様な種類のおもちゃと絵本が入っているので、飽きることなく楽しむことができる。企業によっておもちゃと絵本の内容は違い、今回企業と作成した2種類のおもかしの予約は7月まで埋まっている状況。



おもちゃで遊ぶ子どもの様子①

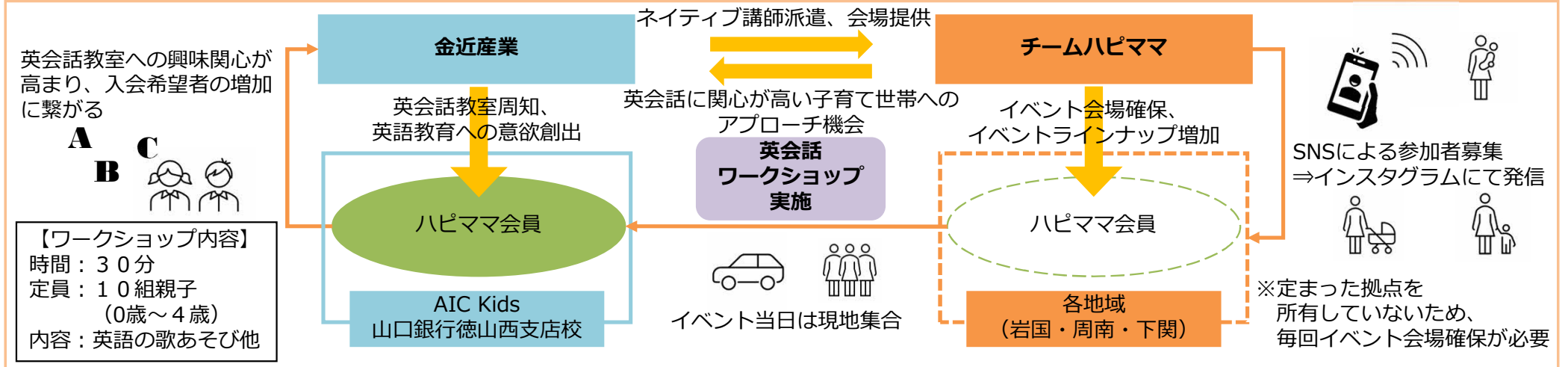
⇒1人でも夢中になって遊べるおもちゃが入っているので、外出ができなくても、家で楽しく過ごすことができる。



おもちゃで遊ぶ子どもの様子②

⇒お子さんの興味を引くような特徴的なおもちゃや、なかなか遊ぶ機会のないおもちゃ等幅広いラインナップを取り揃えている。

■スキーム図



■企業メリット

- ・英会話教室、学習塾の認知度向上
- ・英会話に興味、関心が高い子育て世帯との接点創出
- ・幼児から楽しく自然に英語を学んでいただくきっかけづくり
- ・子育て世帯の英語教育他、ニーズの掘り起こしをすることが可能

■企業感想・意見

参加募集を開始してからすぐに募集定員に到達したと伺い、子育て世帯の方のニーズの高さを感じた。当教室の目的のひとつである「地域に開かれたスペース」として活用いただくことができ、その中で当英会話教室の特徴を知っていただけた。今後も機会があれば親子の交流の場所、英語の楽しさを知っていただく場として開催していきたい。

■子育て支援団体メリット

- ・子育て支援団体として、定まった拠点を所有していないため、会場手配の負担なく、イベント実施会場の確保が可能
- ・企業と連携することで、子育て世帯に関心が高い英会話というコンテンツに対して、単独では実施が難しい内容のイベントが実現
- ・ネイティブ講師のためクオリティが高く、スキルアップにつながるワークショップが可能

■子育て支援団体感想・意見

金近産業様と提携することで、習い事としてママたちの興味が高い「英会話」を未就園児に体験していただくことができた。『うちの子がこんなに積極的に参加すると思わなかった』『参加後から子供が英語の歌に興味を持ち始めてうれしい』『英語教材と対面の授業とでは子供の関心が全然違うのがわかって参考になった』など保護者様から嬉しいお声があり、これからも連携いただけると嬉しい。



工作ワークショップの様子①

⇒英会話教室に常設されている椅子や机をお借りして、普段ハピママが実施している工作ワークショップと同様のプログラムを実施することができた。

(※前半の30分で実施)



工作ワークショップの様子②

⇒椅子に座って作業することが難しい年齢のお子さんは、お母さんと一緒に教室後方の広いスペースに集まって工作の作業に取り組んだ。



英会話ワークショップの様子①

⇒はじめに、モニターから流れる映像と英語の曲に合わせて歌あそびを実施。色や天気等、馴染みやすい英単語を学んだ。

(※後半の30分で実施)



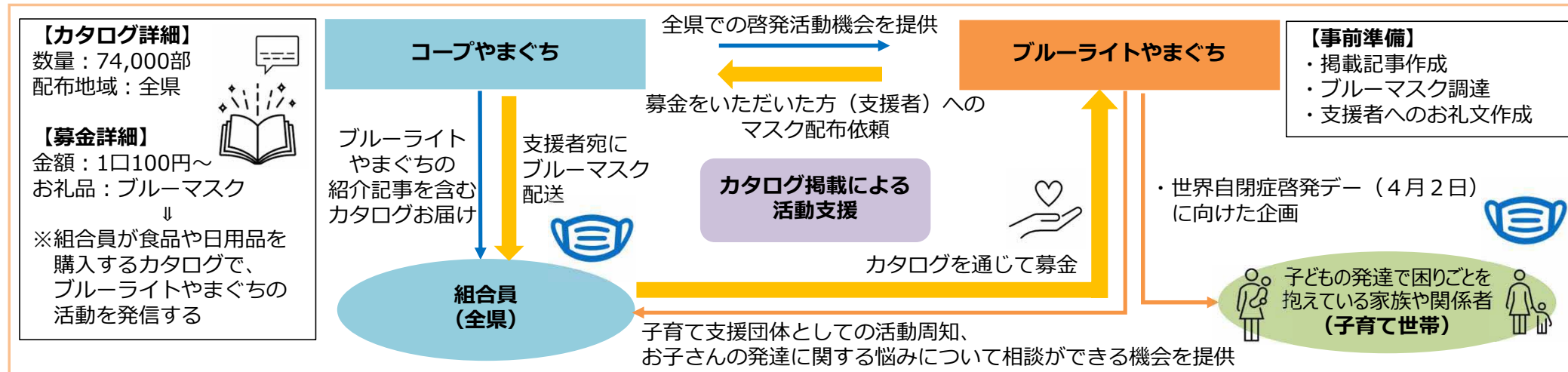
英会話ワークショップの様子②

⇒英語に耳が慣れてきた後半では、絵本の読み聞かせを実施。意味は理解できなくても、英語に触れる機会として貴重な時間を過ごすことができた。

新規

ブルーマスク販売 コープやまぐち×ブルーライトやまぐち

■スキーム図



■企業メリット

- ・子育てに関する悩み相談ができる場として、県内にある子育て支援団体を組合員に対して紹介(情報提供)することが可能
- ・企業としての2030ビジョン「つながる・創る 共に生きる未来！」の実現に向けた取組の1つとして、発達障害への理解を広めることといった、子育て支援団体と連携した新たな形での子育て支援や、地域貢献活動が可能

■企業感想・意見

今回このような1つのカタチを創れることをうれしく思う。企業とし掲げている2030ビジョン「つながる・創る 共に生きる未来！」の実現に向けた1つの取組として、今回の取組がお互いの違いを認め合う、支えあうきっかけになることを期待している。また、これを機に、活動を広げていければと思っている。

■子育て支援団体メリット

- ・子育て世帯と繋がりが深い企業との連携を通じて、より広範囲(全県)での団体の活動周知や啓発活動ができ、応援して下さる方々を増やすことに繋がる
- ・組合員の中で子育てに困りごとを抱えている方に対して、発達障害や子育て支援についての情報提供や相談機会を提供することが可能

■子育て支援団体感想・意見

企業の顧客のみなさまにとって信頼がおけるカタログへの掲載は、理想の連携だと思った。私たちだけでは届かないところにまで情報や思いを届けていただけることが本当にありがたいと感じた。

<カタログ>



カタログへの掲載記事
 ブルーライトやまぐちの活動紹介や、啓発活動への協力を呼び掛ける内容となっている。コンソーシアムから実現した取組だと伝わるように、右下にはコンソーシアムのロゴや説明を追加。商品と同じページに上記の記事を掲載いただくことで、組合員の方の目に留まりやすく、多くの方に周知することが可能。